



(公社) 神奈川労務安全衛生協会

小 田 原 支 部

小田原市本町 2 - 3 - 24

TEL 0465 - 24 - 1753

発行責任者 支部長 石河 勇

編集 広報部会



賀 正

芦ノ湖

日本新薬(株)小田原総合製剤工場 野田 拓朗 氏 撮影

年 間 〇 標 語

健康・安全 スクラム組めば

みんなで実現 ゼロ災職場

## ❁ 新年を迎えて ❁

(公社)神奈川労務安全衛生協会小田原支部長

いし こ いさむ  
石 河 勇



新年明けましておめでとうございます。

会員事業所の皆様におかれましては、輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。昨年は小田原支部の運営に対し、小田原労働基準監督署並びに会員事業場の皆様には多大なるご支援、ご協力、横浜にて開催された全国産業安全衛生大会にも積極的なご参画を賜り誠にありがとうございました。

昨年は、残念ながら死亡災害が2件発生しました。又、死傷災害は減少傾向を示すものの、目標に対し未達となりました。更なる労働災害の減少には、現状把握と原因に対する確実な対応策を講じるPDCAを回すことが必要です。管理する側は、しっかり現場を巡視し、不安全な状態を見抜き、放置しない継続した努力が必要と考えます。

第13次労働災害防止計画では、2017年度と比較して、2022年度までに労働災害による死亡者数を15%以上、休業4日以上の死傷者数を5%以上減少させることを目標としていますが、初年度である平成30年度の労働災害発生状況を踏まえると、より効果的に労働災害防止対策に取り組む必要があります。

会員事業場が抱える課題・取り組みを共有、意識向上の新たなしかけをし、当支部として底上げを図ることを検討します。

平成31年4月からは働き方改革関連法案が順次施行されます。正しい改革内容の理解はされていますでしょうか。遵法することはもちろん重要ですが、ストレスチェックをはじめとする職場環境の健全化も同時に進める必要があります。

本年も本部と連携し、各種研修会、講習会、セミナーなどを開催してまいりますので、会員の皆様には積極的にご参加、活用いただきますようお願い申し上げます。

平成31年も、(公社)神奈川労務安全衛生協会小田原支部として、会員皆様はもとより小田原地区の労働安全衛生の向上に尽力して行く所存ですので、宜しくお願い申し上げます。

小田原労働基準監督署長

さそ ざき まさ お  
所 崎 雅 夫



平成31年の新春を迎え、(公社)神奈川労務安全衛生協会小田原支部及び会員の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、日頃から労働基準行政の推進に多大なる御理解と御協力を賜り、改めて

厚く御礼申し上げます。

さて、昨年7月6日、「働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律」が公布され、同月24日には、変更された「過労死等の防止のための対策に関する大綱」が閣議決定され、国が取り組む重点対策として、長時間労働の削減に向けた取組の徹底や過重労働による健康障害の防止対策等が項立てされたところです。

長時間労働の削減等の問題について、厚生労働省においては、①著しい過重労働や賃金不払残業などの撲滅に向けた監督指導の強化、②休暇の取得促進を始めとした「働き方の見直し」に向けた企業への働きかけの強化、を2つの柱として取り組んでいるところです。当署におきましても、引き続き、長時間労働による健康障害防止のため取り組んでまいります。また、改正労働基準法等の周知に取り組んでいますので、対応方法等について疑問点が生じましたら、遠慮なく当署に御相談いただければ幸いです。

労働災害の防止につきましては、昨年度を初年度とする第13次労働災害防止推進5か年計画を策定したところですが、引き続き、この計画に基づき対策を推進してまいります。

本年も皆様方の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、貴支部及び会員の皆様の益々の御発展、御健勝を祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



## ◆◆◆◆小田原労働基準監督署からのお知らせ◆◆◆◆

## ① 死亡災害の発生について

当署管内においては、平成 28 年 11 月以降、労働者の死亡災害は発生していませんでした。しかし、残念ながら、平成 30 年 11 月、木造家屋建築工事において、2 件（2 人）の死亡災害が発生しました。当署長は、木造家屋建築工事における死亡災害防止のため、平成 31 年 1 月 10 日、業界団体に対して緊急の要請を行いました。木造家屋建築工事業以外の業種におかれましても、死亡災害防止について、特段の配慮をお願いいたします。

## ② 当署管内の労働災害発生状況(第 13 次防重点業種;平成 30 年 12 月末日現在)

| 業種          |          | 製造業   | 建設業   | 陸上貨物<br>運送事業 | 小売業   | 社会福<br>祉施設 | 飲食店   | その他<br>(左記以外) | 合計     |
|-------------|----------|-------|-------|--------------|-------|------------|-------|---------------|--------|
| 本年<br>(人数)  |          | 40(0) | 26(2) | 31(0)        | 41(0) | 17(0)      | 13(0) | 130(0)        | 298(2) |
| 前年<br>(人数)  |          | 47(0) | 31(0) | 27(0)        | 32(0) | 13(0)      | 10(0) | 124(0)        | 284(0) |
| 前<br>年<br>比 | 人数       | －7(0) | －5(2) | 4(0)         | 9(0)  | 4(0)       | 3(0)  | 6(0)          | 14(2)  |
|             | 率<br>(%) | －14.9 | －16.1 | 14.8         | 28.1  | 30.8       | 30.0  | 4.8           | 4.9    |

注 1：上表の人数は、休業 4 日以上之死傷者数である（データは、労働者死傷病報告による）。

（）内の数値は死亡者数で、死傷者数の内数である。

注 2：陸上貨物運送事業は、道路貨物運送事業と陸上貨物取扱業を合わせたものである。

注 3：前年の数値は、前年同期のものである。

## ③平成 31 年度 労働保険料口座振替の申込締切日は平成 31 年 2 月 25 日です！

- 手続き簡単 1 申込用紙を入手 ➡ お近くの労働局・労働基準監督署の窓口  
➡ 厚生労働省ホームページからダウンロード  
[検索](#) [厚生労働省](#) [労働保険](#) [口座振替](#)
- 2 金融機関の窓口へ提出

## 「口座振替による納付」のメリット

- 金融機関の窓口へ行く手間や待ち時間が解消されます。
- 納付の忘れや遅れがなくなるため、延滞金を課される心配がありません。  
※口座振替の手続を一度行えば、次の納期以降も継続して引き落としが行われます。
- 手数料はかかりません。
- 保険料の引き落としに**最大約 2 か月ゆとり**ができます。  
通常の納期限 7 月 10 日 ⇒ 口座振替日 9 月 6 日 ゆとり日数 58 日  
保険料を延納（分割納付）している場合、各納期での分割引き落としとなります。  
引き落とし約 3 週間前と後には、お知らせと結果をハガキでお知らせします。





## 「特集」全国産業安全衛生大会in横浜

25年ぶりに横浜で開催された第77回全国産業安全衛生大会は、10月17日から19日までの3日間で11,200名の参加を得て、盛会裡に終了することができました。

小田原支部からの参加者も目標数を達成し、多くの会員事業所の皆さんが運営担当として大会を支えました。今回、小田原支部からの大会参加の様子や研究発表した感想など、特集を組んでみました。

### 1 総合集會に参加して

平成30年10月17日全国産業安全衛生大会の総合集會が横浜アリーナで開催されました。

さすがに全国大会であり、全員起立による国歌斉唱、黙祷に続き、鈴木スポーツ庁長官や黒岩知事らの祝辞による開会式が始まりました。中災防会長賞表彰、顕功賞表彰、緑十字賞表彰式の後、大会宣言が参加者の拍手により承諾されました。

講演会は厚生労働省労働基準局より今年度からスタートした第13次労働災害防止計画について、目標値や重点ポイントがわかりやすく説明されました。長時間の講

演の為、中災防ヘルスケア・トレーナーの指導により全員で中間体操を行い、座り疲れをリフレッシュすることが出来ました。

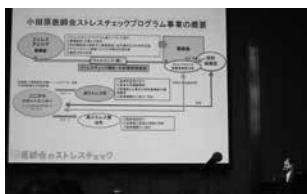
その後、メインイベントである伊藤元重教授による「日本の未来―働き方改革、高齢化、技術革新」についての特別講演が行われました。マクロ経済の面で、現在の抱えている需要が供給を上回りすぎているという課題の解説に始まり、消費税の引き上げ、米中貿易戦争、為替リスクといった最近の経済情勢の解説をしていただきました。

(株)ミクニ 中村昌夫



### 2 分科会の各会場の様子

各会場は盛況に行われました。



### 3 ミドリ十字賞を受賞して

おめでとう！ 平成30年度緑十字賞

神奈川労務安全衛生協会 小田原支部 事務局長 鎌田 光郎氏が受賞

地元横浜で開催された全国産業安全衛生大会の開会式で平成30年度緑十字賞の表彰式が行われ小田原支部の鎌田光郎氏が受賞されました。



〈お祝い会での新旧事務局長〉  
新事務局長左 旧事務局長右



＜鎌田 光郎氏からのコメント＞

これまで「安全衛生」は事業の基盤と考え、優先して取り組むような仕組みづくりに関わってきました。また、支部でのリスクアセスメント講師やリスクマネジメントの講演活動を評価していただき本当にうれしく思います。

引き続き支部活動を通して地域の「安全・安心」づくりに関わってまいりますのでよろしくお願いいたします。

## 4 研究発表会に参加して

## ①小田原ガス株式会社 海野 和久

中小事業場分科会にて当社は、「職場における安全衛生管理の進め方」のタイトルで「事業場におけるリスクアセスメントの導入」と「工事現場における安全衛生活動」について発表させていただきました。

自社の発表と前後して他業種の中小事業場様の発表を拝聴させていただき、メンタルヘルスから労働災害撲滅までにわたる安全衛生の取組の奥深さを感じるとともに、さまざまな着目点に刺激を受けた大会発表となりました。



回数：1回／年（平成30年11月19日実施）

ました。

今回の経験を活かし、都市ガス事業者というライフラインの一翼を担う公益事業の使命として、これからも基本理念の「お客さまの安全と業務の安全」の両立と安全衛生管理のさらなる向上を目指し活動してまいります。

最後になりますが、今回の発表の機会を与えていただいた中央災害防止協会様、神奈川労務安全協会様に感謝を申し上げるとともに、会場運営にご協力いただいた小田原支部の皆さまに厚く御礼申し上げます。

## ②富士フイルム㈱神奈川事業場 大八木 功

防災・危機管理分科会で「富士山噴火に備えたBCP活動」について発表させていただきました。富士山は1707年の宝永噴火以来沈黙を続けており、いつ噴火が起きてもおかしくないといわれています。大規模噴火の前には予兆があることから、いかに早く察知し、いち早く減災措置に取り組むことがBCPの最優先課題と考え、事前の予兆把

握、減災措置、早期生産再開について対応策を検討し訓練を進めてきました。また従業員の家庭での備えを含めた啓蒙活動も進めています。他社の発表や発表後に意見交換させて頂いた企業から学んだことも活かして、より危険性を理解し、適切な行動ができるように災害に備えていきます。



## ※新規加入会員事業場紹介※

☆事業場名 富士フイルムオプトマテリアルズ株式会社 神奈川工場  
 ☆所在地 足柄サイト：南足柄市中沼 210  
 小田原サイト：小田原市扇町 2-12-1  
 （いずれも富士フイルム神奈川事業場内）  
 ☆代表者名 代表取締役 杉山 光英  
 ☆設立 2001年8月1日  
 ☆従業員数 321名  
 ☆事業内容 テレビ、パソコン、携帯電話、タブレットPCなど、フラットパネルディスプレイ用材料及び高機能フィルムの生産

☆事業場名 花王株式会社 小田原事業場  
 花王コスメプロダクツ小田原株式会社  
 ☆所在地 小田原市寿町 5丁目 3番 28号  
 ☆代表者名 馬場 俊之  
 ☆設立 平成26年7月1日  
 ☆従業員数 花王㈱497名  
 花王コスメ542名  
 ☆事業内容 化粧品研究開発及び生産



## ＜新年 安全衛生祈願と経営者セミナー＞

新年恒例「安全衛生祈願と経営者セミナー」が 1 月 11 日、報徳二宮神社、報徳会館で開催され、産業団体連合会の多くの会員が参集されました。

セミナーでは、働き方改革が始動する年として、小田原労働基準監督署所長からその背景と具体的課題まで詳しくお話を伺うことができました。

特別講演では、地元エッセイストの深野彰氏による「小田原文化の源流を探る」と題し、北条氏が築いた小田原文化のルーツについて講演いただき、北条氏没後 5 百年を迎える節目の年にふさわしい講演会となりました。



所長 鎌田 光郎



深野 彰氏

### 〔事務局だより〕

事務局長 鎌田 光郎

本年も法改正や行政課題をいち早くとらえ、タイムリーな講習会を企画していきます。多くの皆様の参加をお待ちしております。

#### 〔1月～3月行事案内〕

##### \* 安全衛生祈願と経営者セミナー

・1月11日(金) 報徳二宮神社／報徳会館

##### \* フルハーネス型墜落制止用器具特別教育

・満席締切 1月18日(金) 小田原アリーナ

・満席締切 2月5日(火) 梅の里センター  
(出張講習受付中、支部まで問い合わせください)

##### \* 衛生推進者養成講習会

・1月23日(水) UMECO第7会議室

##### \* 化学物質リスクアセスメント研修会

・1月24日(木) UMECO第7会議室

##### \* 有機溶剤作業従事者講習会

・1月30日(水) UMECO第3会議室

##### \* 法令講習会：荷役災害防止担当者講習会

・2月1日(金) UMECO第3会議室

##### \* (共催)フォークリフト(最大荷重1トン以上)運転技能講習(A)

・2月8日(金) 学科 平塚アリーナ

・2月23日(土) 技能 平塚支部指定場所

##### \* 安全衛生推進者養成講習会

・2月7日(木)～8日(金) UMECO第5会議室

##### \* 職長教育

・2月13日(水)～14日(木) 商工会議所第1会議室

##### \* THPセミナー：これから取り組む健康経営について

・2月21日(木) 商工会議所第1会議室

##### \* KYT基礎講習会基礎実践講習会

・3月1日(金) UMECO第3会議室

##### \* 安全管理者選任時研修

・3月6日(水) UMECO第3会議室

##### \* フルハーネス型墜落制止用器具特別教育

・3月26日(火) マロニエ202

#### 小規模事業場の事業者と労働者の皆さんへ

#### 地域の産業医による健康相談・保健指導は無料健康相談窓口をご利用下さい

労働者が心身ともに健康で働き続けられるように、長時間労働面接指導、メンタルヘルス対策や生活習慣病予防など、事業場が行う労働衛生管理の支援をするために、「県西地域産業保健センター」では、地域の産業医による面接指導や健康診断の事後措置などの無料健康相談・保健指導を行っています。

1. 無料健康相談窓口ご利用時間 (ご利用希望の方は、原則 1 週間前までにご連絡を下さい)

13時から原則予約順になります。

2. 相談日 (平成 31 年 2 月から平成 31 年 3 月までの相談日は次のとおりです)

2月7日(木) 2月22日(金) 3月6日(水) 3月22日(金)

3. 相談窓口会場

〔おだわら総合医療福祉会館内 小田原市久野 115-2 県西地域産業保健センター 4F 事務所〕

この他に事業者や労働者が利用し易いように、各企業の要請により、産業医による産業保健指導を小田原市、湯河原町、南足柄市、松田町、箱根町、開成町、山北町、中井町、真鶴町、大井町の各企業に個別訪問して対応していますので御利用下さい。

連絡先 0465-66-6040 (月～金曜日 10時から16時までにご連絡下さい〈祝祭日除く〉)

厚生労働省委託事業〔協力：小田原医師会・足柄上医師会〕 TEL 0465-66-6040

県西地域産業保健センター FAX 0465-66-6044

■小田原市久野 115-2 (おだわら総合医療福祉会館内 4F) コーディネーター 剣 持 収  
コーディネーター 川久保恒明